



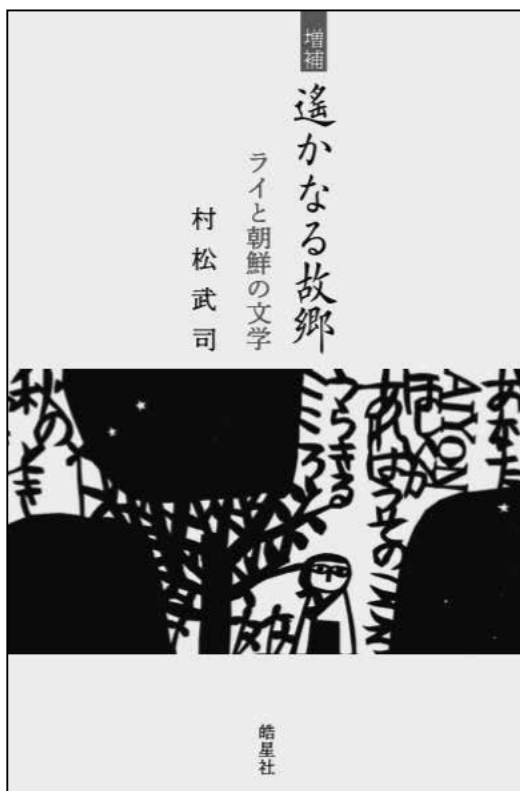
皓星社 新刊のご案内

《 2019年1月7日搬入予定 》

おかげさまで、2019年11月、弊社は40周年を迎えます。



村松武司評論集 斎藤真理子 編 増補版 遥かなる故郷



46判上製、312頁、予価2800円+税
ISBN 978-4-7744-0665-7 C0095
装画 安野光雅

ライはアジア・アフリカだ

「京城」生まれの植民者三代目は、自らの存在をかけてハンセン病と朝鮮の関わりを問い続けた。幻の評論集に、その後の論考を増補した完全版。

主要目次

遥かなる故郷

同行二人／黒いゲーム／植民者作家の死／朝鮮人との出会いと別れ 他
終わりになき戦後

詩をなぜ書く／朝鮮に生きた日本人／朝鮮植民者としての沖縄体験 他
娼婦たちへの返事

専制の中の文学／従軍慰安婦問題の戦後責任／戦後の村で 他

【解説】 椿円から円へ — ライ、朝鮮、村松武司 斎藤 真理子

【資料】 村松武司年譜／著作目録

村松武司（むらまつ・たけし）1924年、3代目の植民者として朝鮮・京城（現ソウル）に生まれる。44年に京城にて召集され、朝鮮・満州・ソ連国境に電探兵として従軍。45年に日本へ。戦後は「純粹詩」「造形文学」編集。小山書店・小山久二郎の薫陶を受け編集者の道に入り、後にダイヤモンド社で『数理科学』編集長を務めた。64年から、ハンセン病療養所で詩の選者を務めた。『怖ろしいニンフたち』『朝鮮海峡・コロンの碑』等の詩集がある。

ご注文 FAX : 03-6272-9921

委託注文書	村松武司評論集 斎藤真理子編 増補版 遥かなる故郷 46判上製、312頁、予価2800円+税 ISBN 978-4-7744-0665-7 C0095	冊	番線印
	【お問い合わせ先】 株式会社 皓星社（こうせいしゃ） 担当：晴山 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-10-601 Tel 03-6272-9330		ご担当（ ）